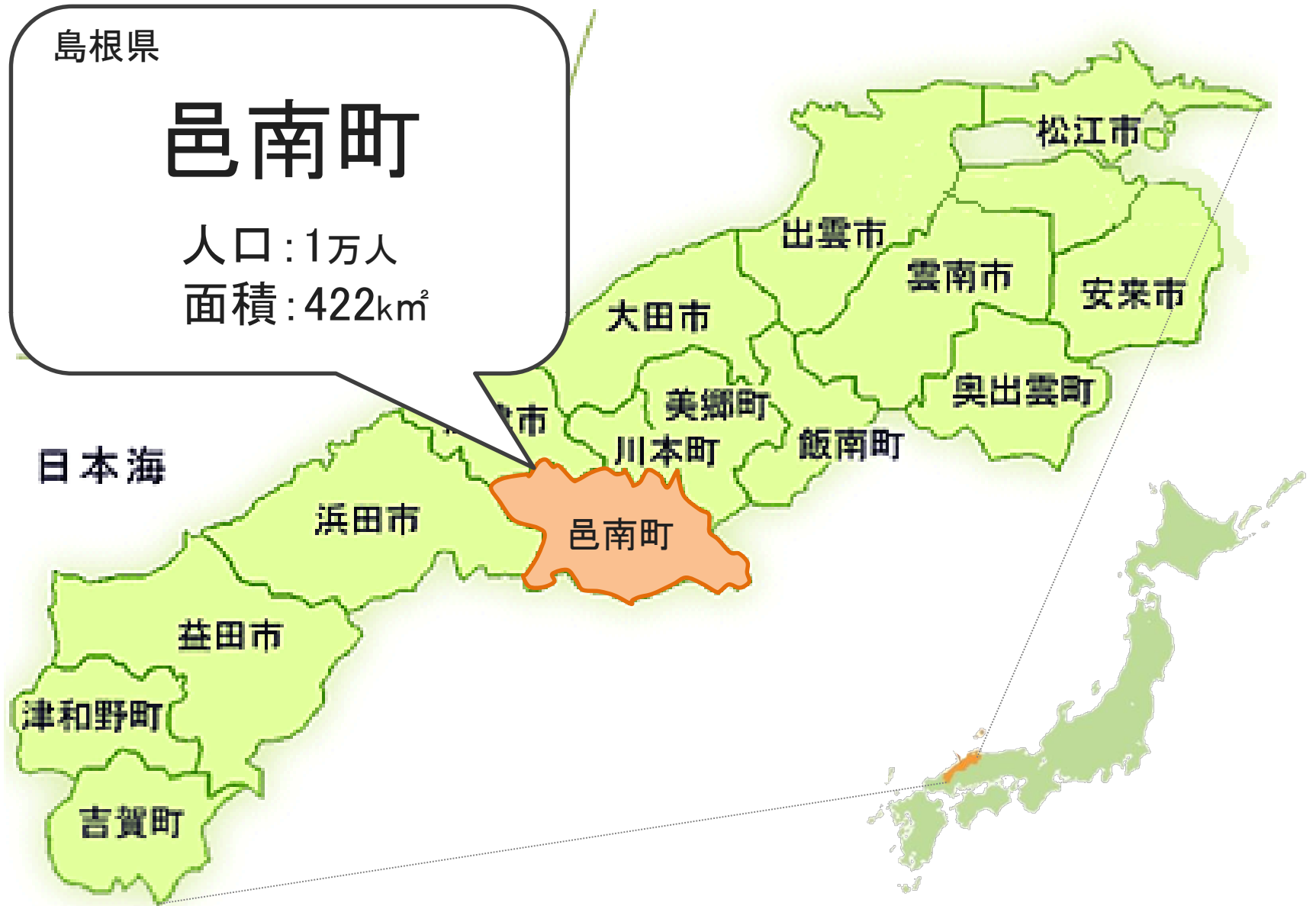


# 関係人口とつくる JR三江線跡地を活かした 地域持続モデルの模索 ～関係人口確保に向けた課題と要望事項～

島根県邑南町役場 定住促進課 羽須美振興推進室

# 島根県 邑南町 羽須美地域とは



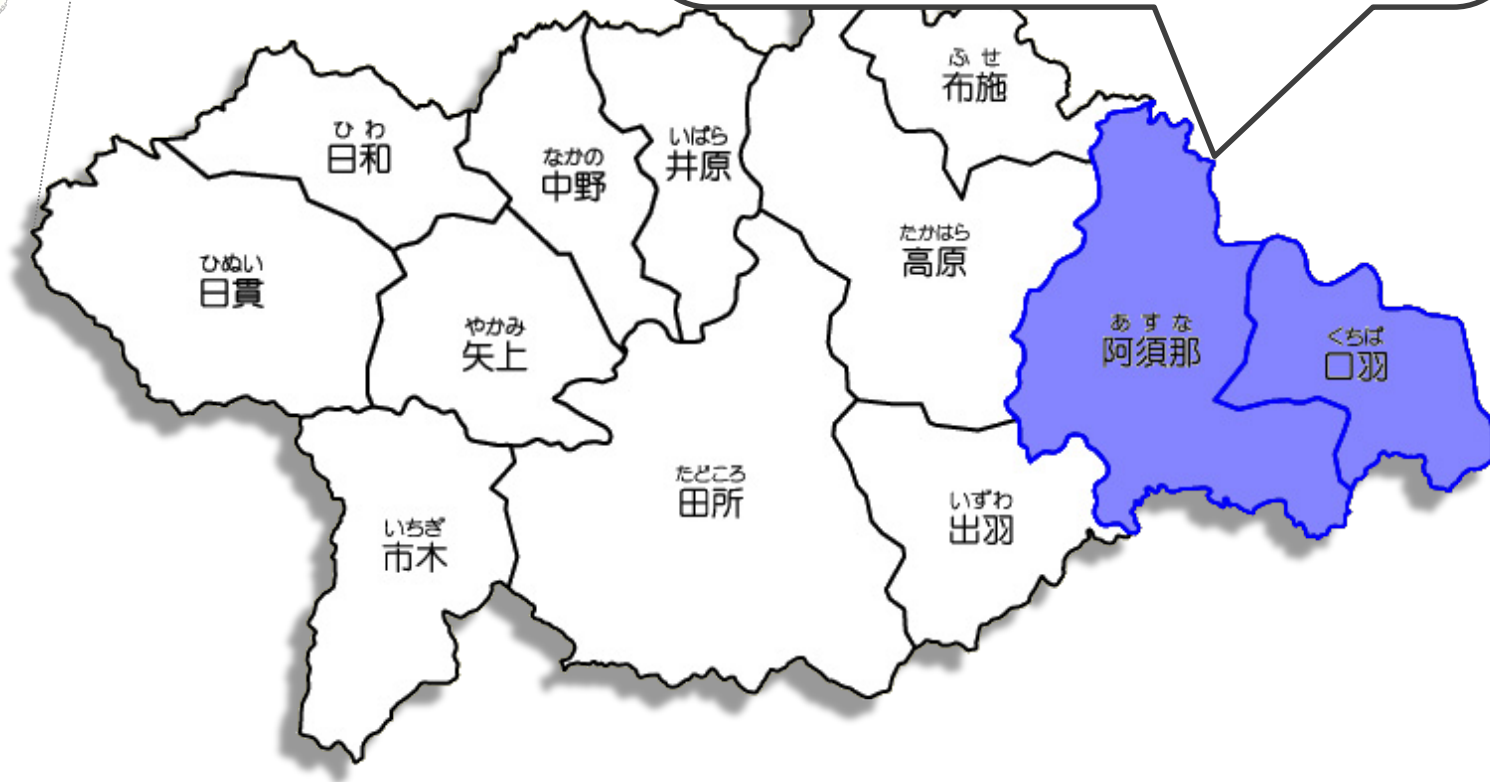
# 島根県 邑南町 羽須美地域とは



島根県邑南町

## 羽須美地域

(旧羽須美村)

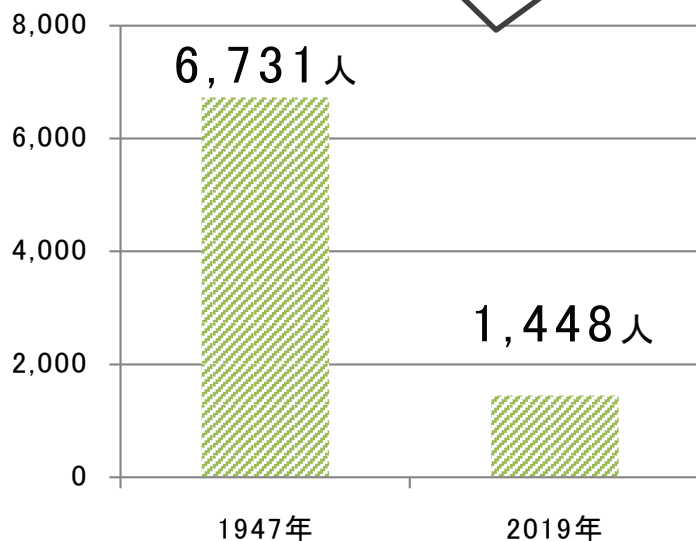


# 人口減少の最先端

地域の担い手が不足し、諦め感も漂う

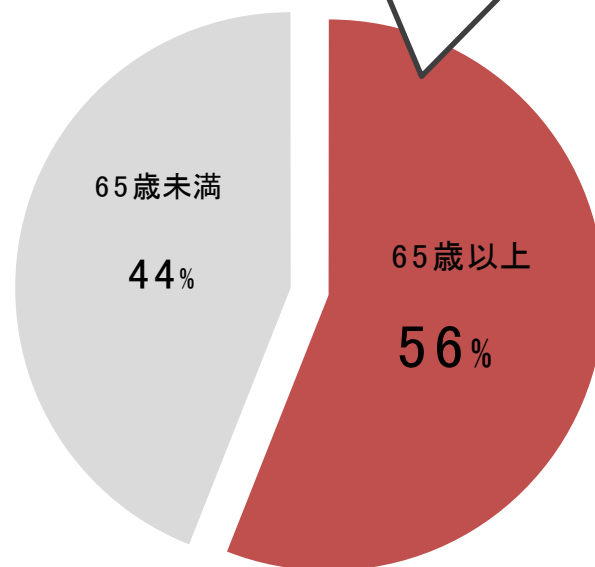
1947年→2019年

**78%減**



高齢化率

**56%**



地域の衰退に追い打ちをかける

# JR三江線の廃線 (2018年3月31日)



地域内外をつなぐ重要な交流インフラが消失

全延長108km35駅、放置すれば負の遺産

# 廃線により 住民手作りのライトアップイベント 「INAKAイルミ」存続の危機

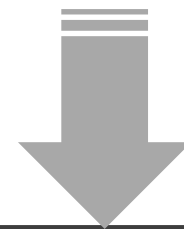


地上20mに位置する「天空の駅」宇都井駅





“廃線バブル”  
住民を応援・支  
援する  
外部の人材が  
登場



廃線後の鉄道資産活用への  
機運の高まり

## 課題1 廃線跡地の活用



鉄道資産を活用した  
実証実験の実施には、  
多くの知恵と  
マンパワーが必要。

プロジェクト1  
廃線跡地を活かした  
観光事業の立案



## 課題2 地域イベント INAKAイルミ の継続



「続けたいが、つらい」  
との住民の声も。

プロジェクト2

地域イベントの存続モデルの検討

(1) 住民ニーズの把握・整理

住民の想いを引き出す

(2) 「関係人口」の募集・選定

相互理解を促す

(3) 現地協働活動の実施

仲間意識を醸成する

(4) 効果検証

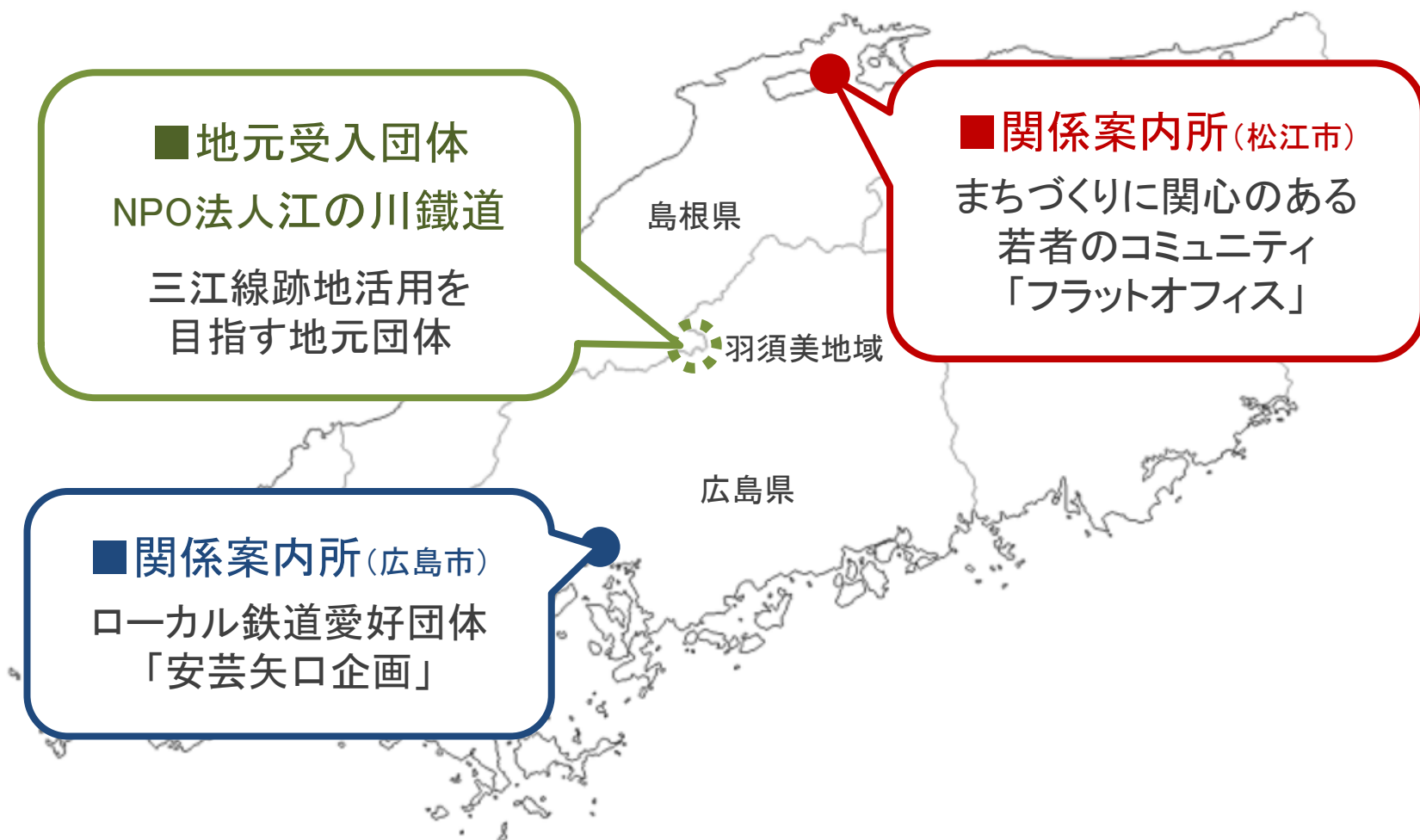
信頼関係を深める

(5) 成果分析

関係づくりの仕組みを  
構築する

## (2)「関係人口」の募集・選定

地域課題に関心を持つコミュニティを「関係案内所」に指定  
都市部に関係人口受入の拠点を整備



## (2)「関係人口」の募集・選定

### 「関係案内所」等をきっかけに 都市部在住の関係人口8名を選定

#### 関係案内所(広島市)

関係案内所「安芸矢口企画」代表。ローカル鉄道に造詣が深く、鉄道ファンとの人脈が豊富。  
(小野和彦氏)

ライター(やまものりこ氏)

#### はすみ未来会議(松江市・広島市)

和紙工作(大田修司氏)

VRコンテンツ開発(山田弘道氏)

#### 関係案内所(松江市)

関係案内所「フラットオフィス」中心人物。ローカルジャーナリストとして地域情報取材・発信。  
(田中輝美氏)

地域活動をイベント化・集客  
(石倉達也氏)

料理家(伊藤知恵氏)

ゲームプログラミング(今井優樹氏)

# 都市部の講座「はすみ未来会議」開催

松江・広島で各3回、のべ96人が参加



住民と関係人口が  
**相互理解**を深め、  
地域課題の解決につ  
ながる取り組み検討

✓ 住民の想いを伝え、**具体的**  
**な関わり方**を提示

チャレンジャー

スキルや経験を活かし新しい取組

プレイヤー

地域活動やイベントの準備・運営に協力

サポーター

情報発信や資金援助など、間接的に支援

## (3) 都市部での連続講座および現地協働活動の実施

### 三江線跡地活用

- トロッコ運行: のべ89人
- アイデアソン: 14人



### INAKAイルミ運営

- 事前準備: のべ135人
- 当日運営: のべ60人  
(飲食ブース出展含む)
- 片付け: 36人





### (3) 都市部での連続講座および現地協働活動の実施

## トロッコの運行実験を15日間実施

関係人口を中心に25人(のべ89人)が運営に参加



関係人口の存在が地元団体の後押しに

## (3) 都市部での連続講座および現地協働活動の実施

# INAKAイルミの準備・運営・片付けを実施

関係人口を中心に76人(のべ231人)が運営に参加



住民から「楽しかった」

「来年もやろう」の声

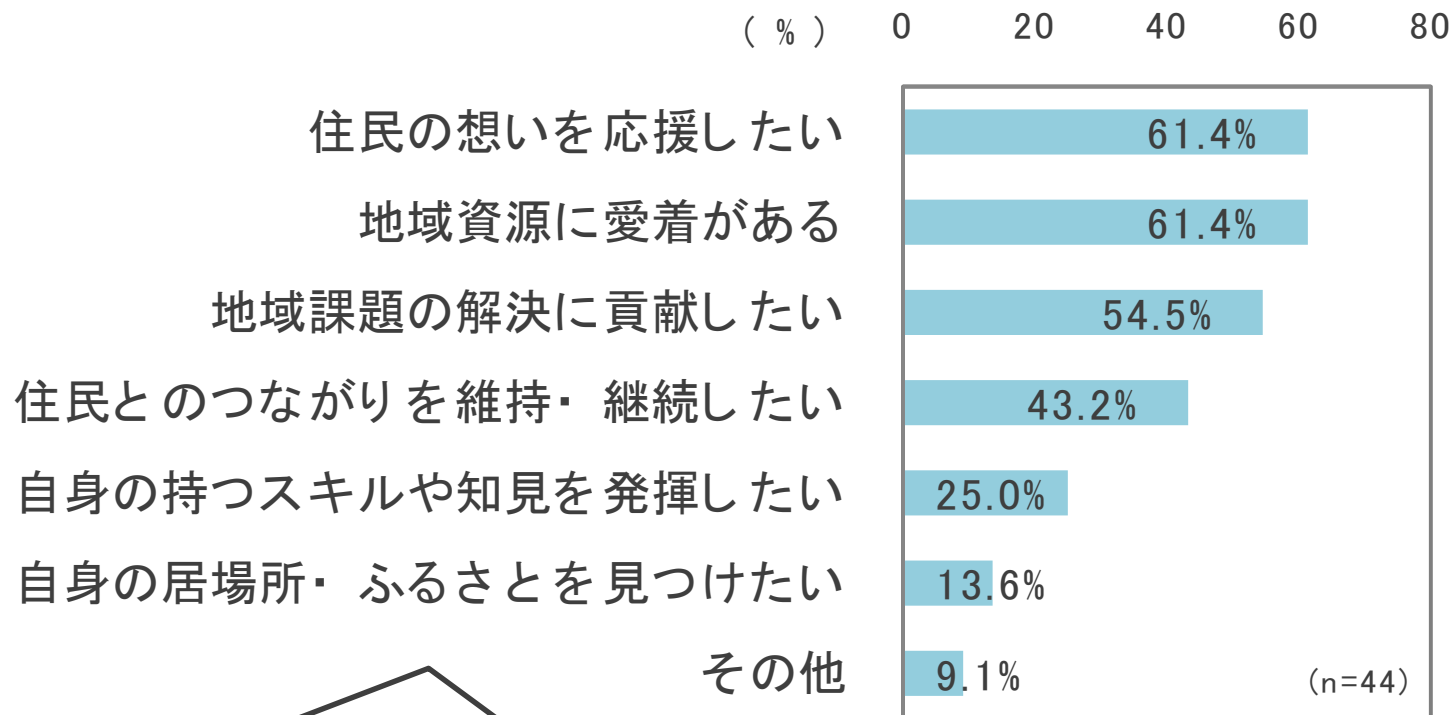
住民の機運の高まり





## 羽須美地域に関わる動機の確認

(協働活動参加者アンケート調査より)

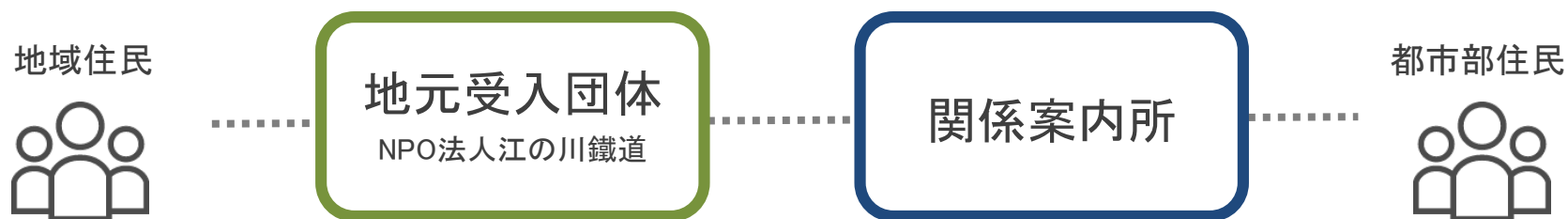


地域(資源)への愛着＋  
チャレンジする住民への共感

## (5) 成果分析

---

# 関係案内所の設置が関係人口の確保に効果



- ✓ 課題に関心を持つコミュニティを関係案内所に指定
- ✓ コミュニティの動機となる活動機会を提供
- ✓ 相互の喜びの一致が持続性の鍵

協働活動終了後、関係案内所「安芸矢口企画」が  
「江の川鐵道ファンミーティング」  
を広島市内で開催、50人が参加。



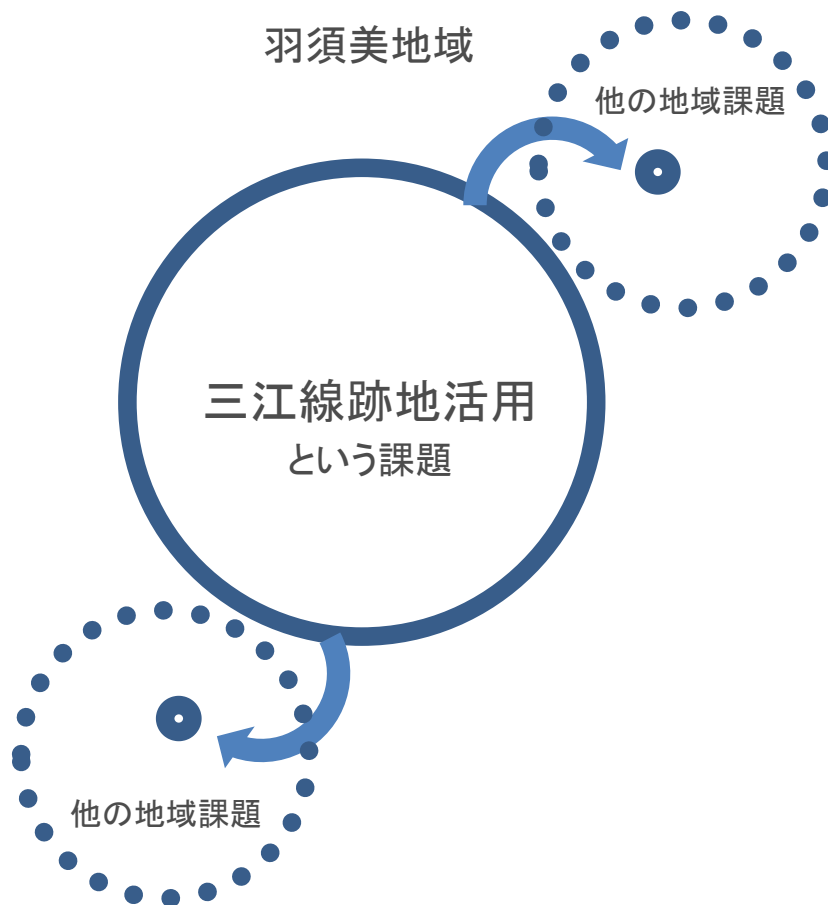
関係案内所としての羽須美地域との交流が  
コミュニティの活性化に効果

## 1. 三江線跡地活用に関わる関係人口の拡大





## 2. 関係人口モデルの他の地域課題への展開



## 2. 関係人口モデルの他の地域課題への展開



“増やす×深める”2方向への発展により

**持続可能な地域の実現へ**



関係人口との協働で  
地域は元気になれる！





# 関係人口づくりの課題と要望事項

# 地域側の意識改革

- 地域運営の有資格者を「住民」に限定する住民意識が強い。
- 関係人口を受け入れる「意義」「効果」についての理解が進んでいない。

## 要望

地域の持続に向けて関係人口が不可欠であるとの認識を社会で共有

# 地域と関係人口をつなぐ仕組みづくり

- ・課題の明確化とかかわりしるの具体的な提示することが必要(説明会、SNS)
- ・地域の取り組みや資源に対する共感を持つ都市部住民やコミュニティとの連絡、調整機能が不可欠

## 要望

- ・関係人口と地域を結ぶ合同イベントやサイトなど、マッチングのサービスの充実・支援
- ・関係人口と地域を結ぶコーディネート機能の充実。関係人口を引き受ける「地域団体」「中間支援組織」への財政支援
- ・人口減少が著しい地域は、思い切った人材配置(公務員配置の際の交付税措置等)



# 受け入れ体勢

- 関係人口の現地の活動で宿泊、食事に費用がかかるあるいは、場がない(羽須美地域は旅館、食堂ゼロ)
- 地域に通うための交通費が高額となる。また地方ではラストワンマイルの交通手段がない。

## 要望

- 滞在拠点の確保(空き家などを活かした関係人口が集う場づくりへの支援、人口減少地域での都市部の住民が過ごすための支援＝通信環境等)
- 移動性の確保(関係人口割引など交通各社と提携)

# 「関係人口登録」(仮)の導入

地域に関わりたいという関係人口の意志や思いが、地域の側から可視化できない(住民がよそ者と認識し、協働意識がはぐくめない面も)

## 要望

- ・自らが活動する地域を登録できる「関係人口登録」を国が認定する制度の導入
- ・住民税等の選択的納税制度の導入
- ・移動や滞在に係るコストに対する助成制度